

ると思いますので強く要望していきます。

Q. これまで国の補助金を活用して様々な事業が展開されてきたが、峨籠の滝向かいのアユ養殖場や横倉地区のワサビの生産など、事業に失敗してそのまま放り投げていような事業もある。これに対して町は今後どのような対応をとるつもりか。補助金をもっと慎重に取扱うべきでないか。

A. 町としても非常に頭を悩ませている問題です。施設などを撤去したいのですが、所有者が組合や個人のものとなっているためどうにもならない状況です。アユの養殖場の施設撤去については、他地区からも要望が出ており、町も組合と話し合えるよう継続して交渉してまいります。実現には至らないのが現状です。補助事業については取扱いが雑にならないよう気をつけます。

Q. 開発公社の経営状況について、いろいろな資料に掲載されているが我々町民が納得できるような経営状態でないと思う。改善策などはきちんと講じているのか。また、大きな負債を抱えている状況で、利益は株主へ配当し、金が足りない分は町から借りるといふ状況になっているのではないか。

A. 一昨年の8月頃から経営方針を変え、スタッフを入れ替えました。「切る物は切る。伸ばすべきものは伸ばす」という商売では当たり前の取り組みではありますが、経営状態が4千万円ほど改善するなど、少しずつ結果として表れてきてい

るところです。株主への配当については、残した赤字が大きいため行っていません。また、施設については、建築後15年ほど経過しており改修の時期ではありませんが、経営の見通しがたないまま改修するのはなく、きちんと見通しがたつような状態まで経営改善されてから考えていこうと思います。皆さまにおかれてもご利用いただけるよう、この場を借りてお願ひします。

Q. ホテルの経営について、4千万円の改善がされたとのことだが、減価償却費も含めての改善なのか。

A. 減価償却費は含めていません。

Q. ペットボトルの再利用についてテレビで取り上げられていた。報道によれば日本のペットボトルの4割が再利用されずに中国に輸出されているようだ。日本は逆に、外国からペットボトルの材料を輸入して作っていると知ってびっくりした。当町におけるペットボトル回収後の利用状況はいかがなものか。

A. 町で回収されたペットボトルは、矢坂の畑クリーンサービスで分別されています。それが中国へ輸出されているかどうかまでは分かりません。後日調査したいと思います。(青森市にあるプラスチックリサイクル工場へ搬送されてリサイクルされていることを確認。)



Q. 措置法が支援法に変わって、障害者が福祉を利用するにあたって不便に思える。町はどのように考えているか。

A. 今後、身体障害者協会の総会等に担当が出席する機会がありますので、その際に詳しく説明させていただきます。

Q. 藤里町における身体障害者の人数は270人ほどいると聞いた。県や郡部は障害者の実数を握っているのに、対象者情報の提示を求めると、個人情報保護の関係上公開できないと言う。身体障害者協会は会員一人あたり年間1,000円を負担して運営されているのだが、県や郡部に上納金として障害者の実数の約7割を納めなければならぬため、非常に運営が苦しい。このままでは対象者も把握できず加入者を募ることができないため、町も協力していただきたい。保健師などは仕事上町民の方々と接触することができると、入会についてアドバイスすることぐらいはできると思うのだが。

A. 役場の窓口で強制的に入会を勧めるわけにもいきませんので、別の方法でPRしていければと思います。

Q. 粕毛橋から草苺野線につながる通路の除雪をしていただきたい。この区間にはウォーキングをする人が多く見受けられるので、歩道がない状況では危険だ。

A. 冬期間は保護者が車で送り迎えして生徒が全く歩かないということと、3年前からこの歩道については除雪してないという経緯があります。除雪をしてほしいということであれば対応します

が、人が多く歩くところを優先して除雪しますので、毎日除雪ということにはならないと思います。

Q. 粕毛地区の下水道使用年度を早めていただきたい。

A. 今使用している浄化槽では、粕毛地区が下水道に加入した場合、容量がもたない状態です。現在、新しい浄化槽を発注していますが、完成するには平成22年度まで時間がかかるようです。したがって、最短で供用できるのは平成23年度となってしまうようです。供用開始まであと3年ほど時間があります。加入予定の方は今から積立をすれば奨励金ができますので、検討していただきたいと思ひます。

Q. 年々高齢化が進み、冬の雪かきは高齢者にとつて非常に大変である。少しでも負担を減らすため、流雪溝の整備をしていただきたいのだが。

A. 流雪溝を整備した場合、除雪機による排雪の回数が減ります。また、流雪溝を整備するにしても一定量の水を常に確保できるかが問題になります。除雪による排雪が減って、流雪溝まで詰まったとなれば非常にうまくないと思ひます。これらのことを踏まえて、地区の方々でも一度検討していただきたい。

Q. 佐藤嘉展氏の車庫付近に街灯がないため設置してほしい。また、桂田商店で営業を終えシャッターを下ろすと交差点が大変暗く、粕毛内へ入っていく道が分かりづらいし交通量の多い交差点のため